

令和6年5月21日

記録：高場 彩

令和6年度 第1回 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和6年5月21日（火） 13時20分
2. 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
3. 出席者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）  
金島裕樹（かきの樹はりきゅう整骨院院長）  
平澤淳（学校長） 霞孝行（柔道整復学科学科長）  
高場彩（柔道整復学科専科教員） 榎渕和真（柔道整復学科専科教員）

4. 課題

- ①校長挨拶
- ②委員委嘱状交付・自己紹介
- ③教育課程編成に関わる現状と課題等
- ④年間行事予定について
- ⑤事務連絡他
- ⑥その他

5. 学校長挨拶

今年度第1回の教育課程編成委員会に、大変お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。4月開始から1か月半が過ぎ、新入生も良い意味でも悪い意味でも慣れてきた頃だと思います。しっかりした柔道整復師を養成して、社会に送り出すという意味では、昨年度の卒業生が既卒者も含め、全員合格だったことは良い結果でした。今年度の在校生も、初志貫徹して卒業・合格させていきたいと思っています。先生方のご指導、忌憚ないご意見をよろしくお願いいたします。

6. 委員委嘱状交付・自己紹介

平澤学校長より委嘱状が交付され、各自、自己紹介を行いました。

7. 教育課程編成に関わる現状と課題等

①令和5年度の報告

霞学科長より、今年度の委員会は昨年度までの岡村忠彦教務部長・関根浩学務部長に代り、司会に榎渕和真（専科教員）、記録係に高場彩（専科教員）が入ることが報告されました。

(1)学外臨床実習について

令和5年2月～3月にかけて、各実習施設において16名の学生が1週間の学外臨床実習を無事終了し、実習指導者から評価をいただきました。素行や態度が悪く実習中止になるような学生はいなかったため、態度や取り組む姿勢で各施設にご迷惑がかかることはなかったようです。ただ、患者様やスタッフとのコミュニケーションにおける言葉遣いや態度等

に課題が残るというご指摘が例年より多かったです。学力や基本包帯法の実技力が十分に身についていない学生が多いとの指摘も受けました。

## (2)国家試験

令和5年度柔道整復師国家試験受験者は、現役生8名、既卒者2名の計10名でした。合格者は現役生8名（合格率100%）、既卒者2名（合格率100%）で合計10名合格率100%）でした。全国平均は66.4%と昨年度よりは上昇したものの、以前と比較すればやはり低い合格率です。

## ②令和6年度の取り組み

### (1)学科運営

令和6年度の在籍者数は、1年生・19名、2年生24名、3年生22名、募集定員を30名としているため、充足率は72%程度です。

### (2)1・2年生交流会

今年度より新入生に対して、在校生（2年生有志）との交流会を実施しました。学校生活や期末試験などについて直接、先輩から離しを聞くことで安心感が得られたようです。

（1年生担任・高場より）

なるべく先生のいる時間を少なくし、2年生を中心に好きにグループでワイワイ話をさせましたが、どの学生も自分から積極的に質問をし、非常に楽しく、嬉しそうにしていたのが印象的でした。

### (3)新入生へのカウンセリング

心理学担当の木村たき子先生より希望者に対してのカウンセリングを実施していますが、クラスのほとんどが実施を希望しました。経年で変化を見ていきたいと思っております。

### (4)学生募集

SNSを中心とした情報発信を引き続き行っております。Instagram投稿、X（旧Twitter）やFacebook等の整理を行い、それぞれの目的に合った情報発信を統制して行っております。オープンキャンパスに参加くださった方、欠席した方へのメールでのフォローを重点的にを行い、本校へ足を運んでいただけるように継続したいと考えています。欠席された方へのフォローメールでは、その後、保護者様から学校に電話連絡があり、日程を別日に変えての参加の意向がありました。おひとりおひとりを大事に対応したいと思います。

### (5)臨床実習

令和6年度より、亜細亜大学サッカー部の公式戦におけるトレーナー活動実習を開始します。現在トレーナーとして在籍している本校卒業生に帯同いただき、日の出キャンパスでの活動を行います。

### (6)講習会など

昨年度の教育課程編成委員会においてご意見を賜った救命講習会の実施に向けて調整中です。

## 8. 年間行事予定表について

10月には昨年度より再開された解剖実習、学園祭が予定されています。その後、認定実技校内審査、11月には認定実技審査本番、年が明けて1月7日に卒業本試験、23日に卒業再試験、29日に卒業判定会議が行われ、卒業生が確定します。3月2日が国家試験となります。

## 9. 意見・質問等

◎質問：島村先生

まずは全員合格おめでとうございます。入学希望者が学校を選択する情報の1つになると思います。今年度の新生で遠いところから来ている人はどのあたりから来ているのですか？住む場所は自分で見つけるのですか？

(回答：霞学科長)

山梨や新座市あたりです。親類がこの辺りに住んでいるとのことで、そちらに転居して通学しています。引っ越し先の部屋に関しては、学校側から不動産屋を紹介し、契約は個人で行っていただいています。都会よりも飯能あたりの田舎で環境がちょうどいい、という子も入学してきたりします。

(島村先生)

高校卒業してすぐの学生が一人暮らししながら、きちんと通学してくるのは感心します。

◎ご意見：金島先生

国家試験の全員合格おめでとうございます。既卒生が2名合格したとの事ですが、そういう卒業生に1度失敗した経験談を現役生向けに語ってもらうのもいいと思います。先生の立場からより、学生に近い立場の子が話すと3年生が締まるかもしれません。

1・2年生交流会はいいと思います。最近の学生はグループワーク等をやると、楽しそうにやる子が多いです。授業は一方通行になりがちですが、アクティブラーニングを取り入れるとクラスの雰囲気良くなると思います。

◎質問：霞学科長

今年度、日整説明会は再開するのですか？

(回答：島村先生)

県の接骨師会のほうからは、再開の依頼をお願いしているところです。

## 10. 事務連絡等

次回開催予定 令和7年2月末 13時30分～ 2階会議室 予定

後日、郵送にてご案内を差し上げます。

令和7年2月28日

記録：櫛渕 和真

令和6年度 第2回 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和7年2月28日（金） 13時20分
2. 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
3. 出席者 金島裕樹（かきの樹はりきゅう整骨院院長）  
平澤淳（学校長） 霞孝行（柔道整復学科学科長）  
岡村忠彦（教務部長） 櫛渕和真（柔道整復学科専科教員）

4. 課題

- ①校長挨拶
- ②教育課程編成に関わる現状と課題等
- ③学生アンケート結果等
- ④質疑応答等
- ⑤事務連絡他
- ⑥その他

5. 学校長挨拶

本日は、大変お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。島村先生は所用により欠席となりますが、よろしく願いいたします。来週、5日水曜日に卒業式が行われる予定であります。卒業生は両学科で38名となりました。柔整の学生はほぼ就職も決まり、今週末の国家試験ではよい結果が出ることを期待しております。ご指導、忌憚ないご意見をよろしくお願いいたします。

6. 教育課程編成に関わる現状と課題等

①令和6年度の報告

霞学科長より、報告を行った。

(1)進級および卒業について

卒業生についてですが、今年度の在籍数は22名でしたが、卒業13名、原級留置9名となりました。この9名の動静はまだ決まっておりません。卒業をさせる13名につきましては、昨年度、国家試験合格率が100%となりましたので、同様の結果となるように補講を行いました。

続いて在校生についてですが、2年生は23名の在籍でしたが、今年度内に6名が退学となる予定となっております。また、1年生は19名の在籍でしたが、今年度内に1名の退学が決まっております。

## (2) 学外臨床実習について

今年度も2年生に対して学外の臨床実習を3月から実施する予定となっております。この実習施設について、昨年9月に臨床実習指導者講習会を実施し、卒業生の小名木先生やグローフォースの生井先生らに参加いただき、実習施設としてご協力をいただくこととなりました。

## (3) 職業実践専門課程について

令和6年4月から無事に認可を受けております。

## ② 令和7年度の取り組み

### (1) 学生募集について

令和7年度入学生は10名前後の予定となっております。非常に学生募集が厳しい状況ですが、次年度はホームページのリニューアルやインスタグラムを活用した学内の情報発信を行っていきます。4月から奨学金や自己負担が厳しいという学生に対して、企業様からの奨学金を導入する予定となっており、企業様には確約をいただいております。そういった企業様の採用担当者に、オープンキャンパスなどで学生や保護者様に説明していただき、柔整への一歩を踏み出してもらえるように情報発信をしていく予定となっております。

### (2) 学外企業との連携について

近年、接骨院業務も多様化しており、それを踏まえ授業でも多様性に対応していく必要があると感じております。また、学生のモチベーション低下が課題となっておりますが、卒業生である、ヒューマンアジャスト取締役営業本部長の田島先生による2・3年生に対するモチベーションの向上を目的とした講義を4月に行っていただく予定となっております。

近々、カリキュラムの変更が行われるはずですが、全容がわからないうちから変更するのではなく、現行のままでできることを行い、余力を残した状態でカリキュラム変更に備えたいと考えております。

### (3) 教員の配置について

昨年度と同様に専任教員6名で行います。

### (4) 授業外の補講について

進級および卒業が困難な学生が増加し、授業や通常の国試対策では救済が難しくなっておりますが、令和7年度も同様に各学年の担任を中心に補講等を実施する予定です。

## 7. 学生アンケート結果等

岡村より、説明を行った。昨年度12月から今年1月に両学科を対象に実施いたしました。今後の教育課程に活かしていきたいと思っております。

## 8. 質疑応答等

◎質問：金島先生

この教育課程編成委員会に参加している前提として、大川学園の発展に寄与できればと思っております。そういった意味で一番気になるのが、入学予定者が10名というのはオープンキャンパスに参加している学生が少ないのですか？

(回答：霞学科長)

オープンキャンパスに参加している参加者数は3分の2程度に減少しています。オープンキャンパスに参加している高校3年生と社会人が入学へつながっている割合としては43%ほどとなっています。近年の傾向として、オープンキャンパス参加者のうち高校2年生が増えております。これは、高校3年生になる前年にオープンキャンパスに参加し、ある程度決めて3年次に再度オープンキャンパスに参加する学生が多くなっているようです。また、情報収集をデジタルコンテンツで行っているようです。高校2年生が増えている一方で3年生が減っていることは周知ができていないからわかりませんが課題となっております。

(金島先生)

私が、大川学園にいた頃も1・2年生のうちから参加する学生さんがいましたが、宿題の一環として来ていたと記憶しております。その義務としてきている学生をどこまで拾えるかが課題ですね。学生さんとの距離感が近いところが魅力となったり、模擬授業を行っている大学などもあるそうなので取り入れてみてはいかがでしょうか。

◎質問：金島先生

在校生の退学理由は何ですか？

(回答：岡村教務部長)

2年生では、学力不足やモチベーションの低下、うつなどの精神障害の既往などが主な原因です。個人的には昔と違いメンタルが弱いように感じる。やめてはいないが、面談を行った学生で、涙を流す学生が多くメンタルの弱さを痛感しております。

(金島先生)

大学等でも、精神障害として病名がつかないグレーゾーンの学生がいるようで、保健室の隣に個人用の昼食スペースを確保したり、カウンセラーを常駐させたりしているようです。中には、課外活動をきっかけに少し変わる学生もいるようです。

◎ご意見：金島先生

大学などでは、低学力者への国語力向上として、たとえば3～4行の文章をを読ませ、どう考えているのかをディスカッションさせる。次に伝言ゲームのように簡単な図形を相手に伝えたり、文章をつけ足したりさせ、最終的にはリーディングしながら書くことが出来るようにさせるなど、段階的なトレーニングをしているようなので取り入れてみてはいいかか。

(質問：霞学科長)

そういったことは、学科だけで行っているのでしょうか？

(回答：金島先生)

学科のみで、マンパワーの問題を考慮し少人数で実施しているようです。

(質問：平澤校長)

それは、専門的な学習を行う前にやるのか？

(回答：金島先生)

いや、学科でピックアップした学生に対して夏休みの終わり頃や後期試験後に90分4コマを2日間程度で行っているようです。

#### 10. 事務連絡等

次回開催予定 令和7年5月～6月の火曜日 13時30分～ 2階会議室 予定  
4月以降にご案内を差し上げます。

#### 11. その他

特になし